

▼INDEX▼

■【内部監査情報】
・令和2年度文書管理に関する監査　監査結果に係る確認について。
■【監査ニュース】
・旭川医大　病院長解任で調査委　院長、撤回を要求 【2/2 読売新聞】　外 13 件
■【Audit Cafe】
・希望の光

表題写真：気仙沼のシダレザクラ

内 部 監 査 情 報

・令和2年度文書管理に関する監査　監査結果に係る確認について。

令和2年度の文書管理に関する監査について、現在取りまとめを行っております。監査報告書を作成するにあたり、事実の相違がないよう監査結果に係る確認を予定しておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

内部監査情報に度々登場する「意見調整」。一体どのようなものなのか気になりませんか？

「国立大学法人東北大学内部監査実施細則　第8条」において、**「監査対象部局別の詳細な報告書」（以下「詳細報告書」という。）を作成する**ものとしており、さらに「同　第9条」において、詳細報告書を作成したときは、**当該監査対象部局に対し、その内容の確認を行う**ものとしています。

内容の確認を行う＝事実の相違等がないか確認を行う＝*意見調整*

ということですね。

実際の意見調整の回答は、以下のような様式を用います。

～～省略～～

内部監査報告書に係る意見調整について（回答）

内部監査報告書（監査事項：〇〇監査）案の確認結果に関する事実の相違等の有無について、下記のとおり回答します。

有　・　無
（該当する方を〇で囲んでください。）

具　体　的　な　内　容
～～省略～～

※1　意見「有」の場合には、その裏づけとなる書類等のコピーを添付してください。

～～省略～～

詳細報告書には、監査結果の概要に加え、内部監査において確認された指摘事項（改善を要する事項や注意事項）や、逆にリスクを減らすために部局独自に取り組んでいる事例（取組事例）について記載されています。**監査は事実に基づいて行う**ため、報告書の記載は、監査対象部局が報告した事実と、相違がないようにする必要があります。そのため、部局において意見「有」、すなわち、報告書に記載の事実が異なる場合は、「その裏付けとなる書類等」をあわせてご提出いただき、相違しているという事実を確認した上で報告書を修正することとなります。

今後**「意見調整」**という単語を見かけたら、事実の相違確認という、監査における**重要な確認**を行っているのだな、と思い出していただければ幸いです。

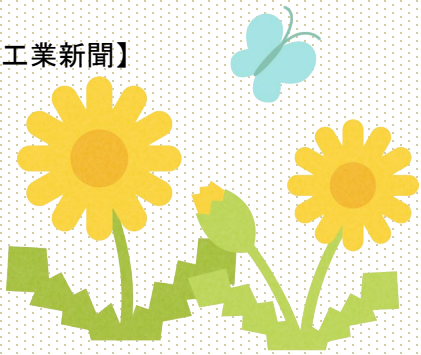
ちなみに、今回内部監査情報にある「文書管理に関する監査」については、部局監査において検出事項があった場合、部局に直接ではなく所掌課に対する改善要請を行う体制をとっているため、部局には「意見調整」ではなく「監査結果の確認」を行うことになっています。奥が深いですね…。

【内部監査計画・報告】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

監 査 ニ ュ ー ス

・旭川医大　病院長解任で調査委　院長、撤回を要請 【2/2 読売新聞】
・エクモ研修で資金募集　東北大、目標 1500 万円 【2/3 産経新聞】
・東邦銀、東北大系ファンドに出資 【2/3 日経産業新聞】
・メルカリ、研究倫理公開　阪大と今春　ベンチャーに指針 【2/3 日刊工業新聞】
・近大大麻使用　学生 12 人処分 【2/3 読売新聞】
・学生自ら研究費獲得　大学・外部にアイデア提示
　東京大　下水からコロナ探索　八戸工大　補講の通知システム 【2/10 日本経済新聞】
・看護職「辞めたい」4 割　コロナ影響　精神的ケア訴える
　東北大による全国 8 地域を対象に実施したオンライン調査 【2/11 河北新報】
・山形大　未払い賃金支給へ　パワハラ訴えの研究員に 【2/17 河北新報】
・霞が関「サービス残業」改善　残業代支払い、「休ませて」の声も 【2/20 朝日新聞】
・留学生の成績評価で不正　横国大教授を懲戒解雇　入試合否判定でも改ざん 【2/20 日本経済新聞】
・陰謀論　東北大助教が配信 【2/25 朝日新聞】
・東大、キャンパス遊休地活用　定期借地権で事業収入確保
　ホテル・医療施設など 【2/25 日刊工業新聞】
・旭川医大教授ら　学長解任求める　署名提出 【2/25 読売新聞】
・阪大 2 次試験　出題ミス 【2/28 読売新聞】



Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！

今回のつぶやきは、「希望の光」と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。



7回目の投稿となります。
東日本大震災から10年が経ちます。
あの年の J1ホーム開幕戦は、3月12日開催で前年度の覇者であるグランパスとの対戦でしたが、前日の大地震により仙台スタジアムは損壊し、仙台市営地下鉄も泉中央駅が大きな被害を受け、試合は中止となりました。

そして約1ケ月半後にアウェーで再開されたJ1リーグ戦にて、宿敵（盟友でもある。）であるフロンターレに対し、2－1で逆転勝利をおさめました。
試合後、当時のT監督からV仙台は、東北の「希望の光」になると宣言し、その姿に厚く心を打たれたことを覚えています。

ちなみに、この年の V 仙台の戦績は J1リーグ戦で4位。翌年は、準優勝しており、翌々年には、ACL（アジアチャンピオンズリーグ）へも出場しました。

ところが、昨年のV仙台は、1）経営危機（債務超過やコロナ禍による入場者数制限による大幅な減収）、2）コンプライアンス違反（某選手による事件の発覚と解雇処分）、3）成績不振（ホーム開催リーグ戦全試合未勝利（球団史上初））など三重苦の時代でした。

このような重苦しい状況のなか、8年振りにあの時の T 監督が帰ってきたのです。
サッカー解説者の多くは、今シーズンの V 仙台は、J2（下部リーグ）への降格候補に挙げています。
しかしながら、私には、T 監督なら何かをやってくれるという期待感しかありません。
再び、「希望の光」となり、旋風を巻き起こしてほしいものです。

コロナ禍の状況下では、先が見えずなかなか球場に足を運んで応援することも難しいですが、再びサポート出来ることを信じて。



（AURA）
V仙台　築き上げよう　時を越えて　君と僕らの　一番のメッセージ
オー仙台　We are feelin’ love　together　輝き放つ　空の下

セ ン！　ダ イ ！　　レ ッ ツ ゴ ー ！！

（監査室　K）

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは…

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
022-217-4874（監査室長：石垣）
022-217-5680，4880（菅野、小原、深沢、武田、早坂）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
© 2010 Audit Office Tohoku University